

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.2.11	会 場	清原体育館	試合No.	英 和	17	14	12	17		60
審 判	(主)安西郷史	(副)清水幹治	佐藤弘之	M 3	八 雲	16	22	13	24		75

千葉英和高等学校(千葉)

コーチ 森村 義和 A・コーチ 川畑 葉子 マネジャー 岡田 紗理奈

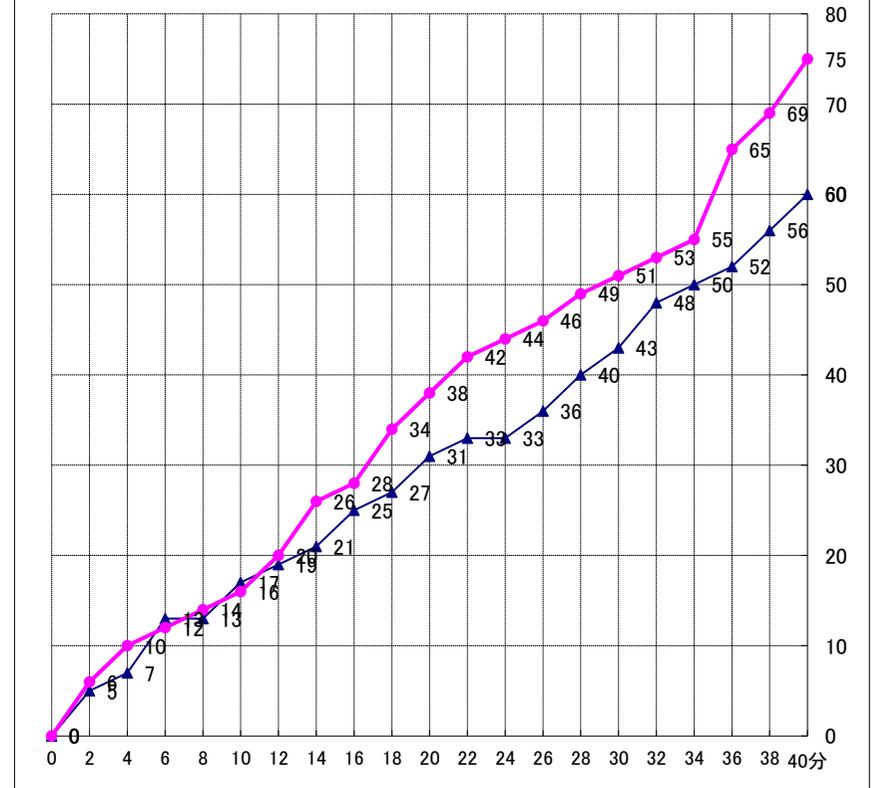
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
鈴木 萌佳	4											
城下 葉	5											
茅野 ゆう	6											
高橋 ゆな	7											
中野 杏香	8											
成田 楓	9											
恵内 鈴奈	10											
大熊 彩葵	11	6	0	2	3	12	0	0	0	2	2	4
石橋 玲菜	12	11	1	3	4	21	0	0	1	0	1	1
岡本 華音	13											
高柳 美羽	14	12	0	1	6	14	0	0	2	1	1	2
小林 美穂	15	20	0	0	9	13	2	6	4	6	11	17
浜野 緋咲	16	11	0	0	2	5	7	10	2	2	7	9
須藤 彩季	17											
橋本 愛玲菜	18	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
チ ャ ム									0	1	0	1
合 計		60	1	6	24	66	9	16	9	13	22	35
		成功率	16.7%		36.4%		56.3%					

八雲学園(東京)

コーチ 高木 優子 A・コーチ 櫻井 美周 マネジャー 蒲 ひより

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
奥山 理々嘉	4	32	0	2	15	27	2	2	3	6	10	16
小村 日夏理	5	17	1	3	7	17	0	1	2	2	8	10
太田 咲里	6	18	0	1	9	15	0	0	1	6	9	15
吉田 眞子	7	8	0	5	3	5	2	2	0	0	7	7
奥野 聖	8											
奥脇 彩柚子	9	0	0	0	0	2	0	0	3	1	2	3
塙 京華	10											
原田 響	11											
池本 里夏	12											
鈴木 かりん	13											
センゲル 響	14											
佐々木 穂奈	15											
山中 小梅	16											
尾川 菜	17											
中島 瞳	18											
チ ャ ム									0	1	0	1
合 計		75	1	11	34	66	4	5	9	16	36	52
		成功率	9.1%		51.5%		80.0%					

得点経過



戦評

女子決勝、千葉英和―八雲学園。関東チャンピオンを懸けての一戦。栃木清原体育館が決勝戦独特の雰囲気にも包まれる。英和はスタメン全員が1年生の若いオーダー。八雲は④奥山を筆頭に高さのある布陣。八雲⑥太田のシュートで幕をあげる。英和も⑫石橋の3P、ドライブなどで返す。両チーム静かな立ち上がり。英和はスローな展開から果敢に1対1を仕掛け、八雲は高さを存分に活かしたインサイドプレーで対抗。英和⑮小林がゴール下のシュートを決め、17-16英和リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、八雲⑤太田のナイスアシスト、ブレイクからのレイアップの連続得点で始まる。対する英和は⑫石橋の個人技でこのピリオド初得点。中盤、八雲のブレイクが決まりだし、少しずつ流れを引き寄せ。英和は⑪大熊のミドルシュート、⑫石橋のドライブで返す。31-38八雲リードで前半終了。英和はサイズの小さいチームながらもスローなハーフコートバスケットを展開、対する八雲は高さがありながらブレイクも得意とする異色の闘いとなった。後半、英和、八雲ともに前半同様ハーフマンツー。後半初得点はアウトナンバーを上手く利用し八雲⑥太田の得点でスタート。対する英和は⑫石橋と⑮小林ピック&ロールからの得点。中盤、八雲は④奥山のリバウンドシュートなどでじわりじわりと引き離す。高さで劣る英和は⑮小林の献身的なリバウンドシュート、ブロックで食らいつく。43-51八雲リードで第3ピリオド終了。勝負を決する最終ピリオド、英和⑬高柳のリバウンドシュートで始まる。対する八雲は⑤小村の3Pですぐに返す。英和は⑮小林の粘り強いリバウンドやナンバープレーで点差を詰める。残り6分、50-55で八雲リード。その後、八雲は華麗なブレイクで連続得点。さらに八雲は④奥山がゴール下で強さを発揮し点差を広げ逃げ切った。最終スコア60-75で八雲が関東チャンピオンの栄冠に輝いた。英和はスローな展開でロースコアに持ち込み、最終ピリオド中盤までプラン通りであった。しかし、高さ、速さ、上手さすべてを兼ね備えた八雲が一歩上だった。苦しい時間帯も耐え、要所でブレイクやゴール下で強さを発揮した。両チームとも関東大会決勝に相応しい闘いを昇せてくれた。選手の健闘を讃えたい。

記入者 杉森 豪